平成 29 年３月 12 日（日）

四季の森公園自然観察会「桜前線と足元の植物」

桜前線の前に見られるサクラも素敵です！

NPO 法人四季の森里山研究会　担当：上野、渡部、江頭、井鍋

桜前線はもうそこまで来ています。ソメイヨシノより一足早く咲く桜を見に行きましょう。落葉広葉樹の葉が出るまでもう少し。林の中や道端には今どんな花が見られるでしょうか。

カタクリ、アセビ、ハナモモが見頃です。一方、普段あまり気にしていませんが、立ち止まって足元をよく見ると、小さいけれども美しい花々がたくさん咲いているのが分かります。

カタクリ	カンヒザクラ	カンザクラ	オオイヌノフグリ	ヒメオドリコソウ

・**サクラの由来**

サクラの「サ」は稲の神を、「クラ」は神の座を意味し、サクラは古代より［稲の神］の依り代として、農民の信仰の対象でした。サクラは稲作を始める時期に咲くため、暦代わりに使われていました。富士山頂から花の種をまいて花を咲かせたとされる［コノハナサクヤヒメ（木花之開耶姫）「浅間神社（富士宮市）」の祭神］のサクヤをとって「桜」になったとも言われています。

・**コブシとハクモクレンの違いは？**

花の形、花の向き、花びらの厚み、花びらの枚数に注目してみましょう。コブシはどっち？ ⇒

受粉方法にも工夫があります。

・**オオイヌノフグリの名前の由来は？**

大犬の陰嚢、学名 *Veronica persica*。コバルト色の花は１日で落花する虫媒花。

和名はイヌノフグリに似た大型の植物の意味ですが、「イヌノフグリ」は牧野富太郎博士が名付け親とか。別名、瑠璃唐草（るりからぐさ）、天人唐草（てんにんからくさ）、星の瞳とも言います。花言葉は、信頼、神聖、清らか、忠実。聖女ヴェロニカに因みます。

・ところで、**今日は何の日？**

1876 年（明治９年）３月 12 日、官公庁では土曜日が半休、日曜日は休日とする太政官通達が出されました。これ以降、官公庁、ほとんどの学校、多くの企業で土曜日が「半ドン」となりました。

★　次回は４月~~１０~~９日（日）。テーマは『~~里山の樹の花と妖精たち~~樹木の花と若葉を楽しむ』です。是非、ご参加ください。《観察会参加者には、間違いを訂正してご案内しました（上野）》